

ポウケン



by Kei.



ぼくは、きのう、お父さんと
おかさんと町へ行ったとき、
はじめてほんもののものも用の
ミニバイクをみました。赤い色
でフロントガラスがついていま
した。
ずっとまえに、テレビでちっ
ちやな子どもが本ものミニバ

イクにのっているのをみました。
そのとき、かっこいいとおも
いました。
きのう、バイクをみたときも
かっこいいとおもいました。お
こづかいをためて、買いたいと
おもいました。
ぼくは、大きくなったら子ど
も用のミニバイクのバイクやさ
んになりたいです。
小さくて子ども用だから、め
ずらしくてきつと人がいっぱい
くると思います。



大きくなったら



笹山小2年 内藤 博之

作品紹介



木崎小六年

鈴木 誠

※先生のことば……指先や顔の表情など、
ていねいに表現したと思います。パッ
クに障子戸などあればつなぎになり、
刷りも楽にできたとと思います。

岡二小六年

渡辺 澄雄

※先生のことば……しっかりと鉛筆をに
ぎって目を光らせている真剣な表情が
うかがわれます。友達を正確に表現し
ている作品です。

表紙のことば

木崎小学校四年生の桑野雄一
郎君が、一日消防署長をつとめ
ました。これは、消防の北出張
所(高橋雅晴所長)が計画した
もので、県下でも大変めずらし
いことだそうです。
一日消防署長の任命を受けた
桑野君は、会社や保育園をまわ
り、火災予防の徹底をピーアール。
「消防の仕事がこんなに大
変だとは思いませんでした」と
感想を述べていました。